



2025 年 11 月 21 日

各 位

会社名 株式会社デ・ウェスタン・セラピューティクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役 松原 さや子
TEL 052-218-8785

フックス角膜内皮変性症治療剤「K-321」のグローバル第Ⅲ相臨床試験における被験者の観察期間完了のお知らせ

当社が創製した Rho キナーゼ^(注) 阻害薬「リパスジル塩酸塩水和物」を有効成分とする点眼剤「K-321」(以下、「本剤」)につき、ライセンスアウト先の興和株式会社(以下、「興和」)より、2つのグローバル第Ⅲ相臨床試験のうち、先行している試験(以下、「本試験」)での被験者の観察期間が完了した旨の連絡を受けましたのでお知らせいたします。

本剤は、現在2つのグローバル第Ⅲ相臨床試験が進行中です。今回、全ての被験者の観察期間が完了したのは、2025年3月18日付「フックス角膜内皮変性症治療剤「K-321」のグローバル第Ⅲ相臨床試験における被験者への投与完了のお知らせ」によりお知らせした試験です。

本試験は、フックス角膜内皮変性症患者を対象に、デスメ膜剥離と白内障の同時手術後に、本剤を点眼投与した際の有効性及び安全性についてプラセボと比較して評価することを目的としています。

今後、被験者のデータを収集し、集計解析が進められます。結果については、判明次第、速やかにお知らせいたします。

フックス角膜内皮変性症は病態の進行にともない角膜内皮障害に至ります。重度の視覚障害を有する角膜内皮疾患のこれまでの治療法は角膜移植であり、有効な治療剤の開発が望まれております。当社と興和は「K-321」の開発を通じて患者の皆様に新たな治療選択肢を提供してまいります。

なお、本件による2025年12月期業績予想の変更はありません。

リパスジル塩酸塩水和物について

リパスジル塩酸塩水和物は、緑内障・高眼圧症治療剤「グラナテック[®]点眼液 0.4%」として、2014年12月より興和にて日本での販売を開始しております。リパスジル

塩酸塩水和物は、Rho キナーゼ阻害薬であることから、眼内にあるキナーゼに作用する可能性があることが示唆されており、他眼科疾患への適応可能性が検討されておりました。K-321 は適応拡大に向けた取り組みとして、フックス角膜内皮変性症を適応とした試験が行われておりました。

以 上

用語解説

（注）Rho キナーゼ（ROCK：Rho-associated, coiled-coil containing protein kinase）

Rho キナーゼはタンパク質リン酸化酵素（プロテインキナーゼ）の一つであり、Rho-ROCK 経路を介する多彩な細胞応答の制御機構に関与する酵素です。